

令和3年度物品・役務等に係る契約適正化監視等委員会
定例会議審議概要

開催日及び場所	令和3年11月19日（金） 5号館第12会議室
出席委員 (50音順)	大久保規子（大阪大学大学院法学研究科教授）、田路至弘（弁護士）、野村豊弘（日本エネルギー法研究所理事長）、蓑輪靖博（福岡大学法学部教授）、森嶋昭夫（名古屋大学名誉教授）
開催趣旨	環境省が発注する物品・役務等に係る契約について、契約方式を含む契約過程や契約内容の透明性の確保、予算執行の効果的な実施など環境省における公共調達の一層の適正化を図る観点から、令和元年度に当省が締結した物品・役務等の契約の中から抽出した事案の審議を行った。
審議案件	<p>総数8件</p> <p>○競争入札方式（5件）</p> <p>① 令和2年度エコチル調査に関する企画評価等実施業務</p> <p>② 令和2年度温室効果ガス観測センサ3型（TANSO-3）等の設計・試作委託業務</p> <p>③ 令和2年度「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトにおける企業とアンバサダー等と連携した効果的な情報発信等業務</p> <p>④ 令和2年度環境省のITガバナンス整備に関する調査、分析及び助言等業務</p> <p>⑤ 令和2年度ESG金融ステップアップ・プログラム推進事業におけるグリーンファイナンス・ポータルサイト整備委託業務</p> <p>○随意契約（1件）</p> <p>⑥ 令和2年度「令和2年7月大雨」災害廃棄物処理支援業務（その1）</p> <p>○参加者確認公募方式（1件）</p> <p>⑦ 令和2年度モンゴル国におけるコベネフィット型環境汚染対策推進支援委託業務</p> <p>○不落・不調随意契約（1件）</p> <p>⑧ 令和2年度有明海・八代海等再生評価支援（有明海二枚貝類の減少要因解明等調査）業務</p>
委員の意見等	別紙のとおり（抽出された個々の契約案件についての意見具申、または勧告はなかった。）

	<p>なお、過去に審査したものは審議対象から外しているが、審議済み案件が増えてきているので対象案件の検討が必要という意見や、特定の項目に注目し、その点を掘り下げて議論を行うことを検討してもよい旨コメントがあった。また、競争性の確保について具体的な方策の確認や随意契約が必要なものは理由をしっかりと伝えることが重要とのコメントがあった。</p>
--	---

(別紙)

委員からの意見・質問、それらに対する回答等

抽出案件	■意見・□質問	回 答 等
①令和2年度エコチル調査に関する企画評価等実施業務	<p><input type="checkbox"/>入札に対し2者応札があったが、1者は予定価格をオーバーし、1者のみ予定価格を下回る応札があり落札された。考えられる理由はあるか。</p> <p><input type="checkbox"/>会議をWEB開催にしたようだが、メリット、デメリットがあれば教えて欲しい。</p>	<p><input type="checkbox"/>明確な理由は業者に確認した訳ではないので不明だが、競争原理が働いた可能性が考えられる。加えて、落札した業者は経験値があるが、毎年、同じような落札率ではないので、本年の入札に関しては予算の効率化を検討したのではないかと思う。</p> <p><input type="checkbox"/>会議をWEB開催にしたことに対するメリットは、日程調整の幅が広がったことであり、デメリットは急な変更があった際、対面より迅速に進まなかったことや、資料をお送りした際、受け取りにタイムラグが生じたことがあった。</p>
②令和2年度温室効果ガス観測センサ3型(TANSO-3)等の設計・試作委託業務	<p><input type="checkbox"/>契約額が高額になるのは事業内容からしてわかるが、価格が適正であるかはチェックしないのか。</p> <p><input type="checkbox"/>全体的に競争性の確保が問題になっているが、本件のように再委託が大部分を占めるものについては、再委託先についても競争性を確保するようなことをしていないのか。</p>	<p><input type="checkbox"/>請負者で独立評価チームを設置し、計画や予算を確認している。</p> <p><input type="checkbox"/>請負者は再委託先の選定に関して指名競争入札(総合評価方式)を実施しており、本件も再委託先の決定に際し、実際に複数者による競争が行われ再委託先が決定した。</p>

<p>③令和2年度「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトにおける企業とアンバサダー等と連携した効果的な情報発信等業務</p>	<p><input type="checkbox"/>過去から比較すると契約額が増えてきているが内容はどのように変化しているのか。</p>	<p><input type="checkbox"/>アンバサダーの数が増えてきているのに加え、企画の数も増えてきているので、増額につながっている。</p>
<p>④令和2年度環境省のITガバナンス整備に関する調査、分析及び助言等業務</p>	<p><input type="checkbox"/>全省庁に関わるものは政府で一本化して行ったらどうか。他省庁では情報室のようなところが自前でやっていないのか。</p>	<p><input type="checkbox"/>PMO という組織は他省庁にもあるが、外部に支援をお願いしているか聞いた限りではない。環境省は人員不足もあり、外部に支援をお願いしている。</p>
<p>⑤令和2年度 ESG 金融ステップアップ・プログラム推進事業におけるグリーンファイナンス・ポータルサイト整備委託業務</p>	<p><input type="checkbox"/>データの統合、オープン化は全省庁統一に行われているのか。</p>	<p><input type="checkbox"/>各省共通で持っている情報をデジタル庁のほうでまとめた情報として構築するという動きがある。</p>
<p>⑤令和2年度 ESG 金融ステップアップ・プログラム推進事業におけるグリーンファイナンス・ポータルサイト整備委託業務</p>	<p><input type="checkbox"/>競争性を確保し複数者の応札を目指すことは、案件の性質からして難しいのではないかと思うがどうか。</p>	<p><input type="checkbox"/>能力の観点とか、専門性の観点で考えるとできる方はいると考えている。</p>
<p>⑤令和2年度 ESG 金融ステップアップ・プログラム推進事業におけるグリーンファイナンス・ポータルサイト整備委託業務</p>	<p><input type="checkbox"/>この案件と同様、何年か続いている契約は、初年度の競争がポイントだと思うが、本件はなぜ最初から1者応札だったのか。</p>	<p><input type="checkbox"/>周知不足だったかもしれないが、理由について具体的に把握していない。</p>
<p>⑥令和2年度「令和2年7月大雨」災害廃棄物処理支援業務(その1)</p>	<p><input type="checkbox"/>契約相手先を探す際はD.Waste-Net に登録されている機関に順次連絡しているのか。</p>	<p><input type="checkbox"/>おっしゃるとおり、順次、連絡して対応が可能か確認した上で、可能なところと緊急随契を行っている。</p>

<p>⑦令和2年度モンゴル国におけるコベネフィット型環境汚染対策推進支援委託業務</p>	<p><input type="checkbox"/> 緊急随契を締結するにあたり不便に思うことはあるか。契約の雛形などを常時準備しているのか。</p> <p><input type="checkbox"/> ここしかできない業務なのか。</p> <p><input type="checkbox"/> 事業者間の競争が働くよう努めるというのは、具体的にどのようなことか。</p>	<p><input type="checkbox"/> 過去からの積み重ねにより仕様書や積算である程度ノウハウを蓄積してきている。これ以上の負荷軽減は難しいと考えている。</p> <p><input type="checkbox"/> 落札者は海外協力関係の案件を多く取り組んでいて経験豊富である。他者は事業経験がないと二の足を踏んでしまうのではないかと思われる。</p> <p><input type="checkbox"/> 要件の緩和などを検討している。</p>
<p>⑧令和2年度有明海・八代海等再生評価支援（有明海二枚貝類の減少要因解明等調査）業務</p>	<p><input type="checkbox"/> 本件、1者応札だが、複数者応札の可能性はあるのか。</p> <p><input type="checkbox"/> 分割発注について考えてはいないのか。</p> <p><input type="checkbox"/> 金額（契約額）がほぼ同じ額で推移しているが、今回、予定価格を下げたから不落になったのか。</p>	<p><input type="checkbox"/> 複数者応札の可能性は十分あると思う。技術的に難しい部分は外注でも可能と思う。</p> <p><input type="checkbox"/> 調査部分と評価部分の分割はあるかもしれないが、非効率になると思うので、分割の予定はない。</p> <p><input type="checkbox"/> 本当にたまたまだと思う。翌年度は総合評価を実施し、落札に至った。不落になったのは、1者応札で入札額を細かな数字で刻んだためではないか。</p>